

"らしさ"を重視して 商空間の設計・企画

中村雅子デザイン事務所



中村雅子代表

新会社紹介

「らしい」ということがとても大切だし、好きなんですね。女性なら女性らしさ、日本人なら日本人らしさ、といつたものであります。

この「らしい」は仕事の上でもガラスや木、金物等その素材の持つ性格を生のまま生かすデザインを心掛けているという姿勢に表

は新商品開発につれて生まれた地域空間、商品が今までの生活に多大な影響を及ぼすといった例は昨今めずらしくはなくなつて来ている。例えばフロングラス、ゴミ公害、車の排ガス、騒音等一部の地域住民の問題から全世界規模の問題へと派生していくている。それだけに現在、開発（地域、商品等）にたゞさ

れる人達にとって環境を加味した企画開発、コンセプトが重要になって来ている。そういった都市環境問題の調査機関である株環境総合研究所が20年間の研究実績を基により日常的に考え方、行動をするためのパソコン通信ネットワークを研究所内通信から外部ネットワークサービスへと拡大し一般参加できるパソコンネットワークが9月1日から

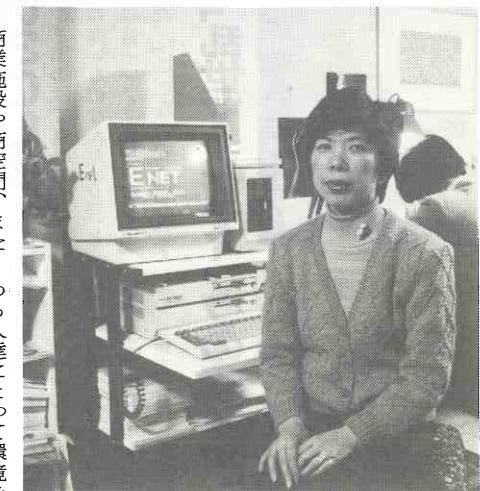
われている。フェリス女学院住居学部インテリアデザイン科の研究室を出て、一時住宅のインテリアコーディネーターに。さらに桑沢デザインのスペースデザイン事務所を12月1日に設立し

た。現在は8割特に2月が店舗の設計・企画でMDやユニフォームデザイン、店舗ネーミング、グラフィックまで幅広く対応している。「4年半、プラスチックスタジオに居て、デザインのキャパシティが広がって来たな」と感じています。インテリア・デザインだけでなく、それに関連した分野もどんどん関わって行きたい。幸いに桑沢時代の友人やプラスチックスタジオ、そのブレーンの方々等数多くの人に助けてもらっているので……。ただ自分の方針としてこれからはより住空間もしくは人が多く介在する空間のデザインに力を入れていきたいと思っています。

商空間デザインは現在短いスパンで回転していくことが多い、スクランブル・ビルドは店造り上げていく側として「つらい」と感じることもあるそうだ。また

環境情報のパソコン通信ネットワーク

E-NET事務局(有)ダイナミックプログラミング



池田こみち代表

開始している。

同都市環境情報パソコン通信ネットワーク「E-NET（イー・ネット）」では、国、地方の行政職員はじめ国公立研究機関、大

学、民間コンサルタントの研究者、マスコミ関係者、企業シンクタンク、一般市民らが連絡が見つかったり、専門家や異業種の人々の考え方

えて来ているそうだ。

環

境問題にはやりすたりがありません。様々な人々のネットワークから問題解決策の意見交換や情報提供している。また、会員自身が情報を提供したり、パソコンを使って討論や私信も送れる。

環境問題に関するE-NET電子掲示版総合メニューは30種類。大気汚染、環境アセス、都市計画、まちづくり等さらに項目別に細分化された電子版が登場し、問題を深く幅広く迅速に取り組めるメディアだ。

同事務所がホスト局となり、会員が電話によりホスト局をつなぐといつでも環境情報が手に入るわけだ。現在全国に会員は2000円、民間企業、コンサルタント、企業、協会、公団等5万円。連絡先はE-NET事務局(有)ダイナミックプログラミング 03(44)8692

「住建築はベースメントとして7割まで造つて、後の3割はコーディネイションや各個人のライフスタイル、四季に応じて変化する、といったつくり込み過ぎないおもしろさがあります。その点、商環境は99%まで造り上げてしまう」。そういういたデザインのニュアンスの違いを感じながら、着実に自分の仕事を指針をおおらかに決めていくのも中村さんの魅力のようだ。現在、独立したばかりで大忙しの中村さんだが悩みのたねは「仕事をしていないのも中村さんの魅力のようだ。現在、独立したばかりで大忙しの中村さんだが悩みのたねは「仕事をしていない」と呼ばれてしまふ。それが本当に多いです。自分自身の女性らしさ、に疑問を感じてしまふ」そうだ。4月からリゾート開発の仕事をも手をのばしたいと抱負を語ってくれた。